

【今年のテーマ】「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」

《本日のテーマ》「イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」

・・弱い者でも用いてくださる神・・

《みことば》 使徒 3:1～8

- 1 ペテロとヨハネは、午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。
- 2 すると、生まれつき足の不自由な人が運ばれて来た。この人は、宮に入る人たちから施しを求めるために、毎日「美しの門」と呼ばれる宮の門に置いてもらっていた。
- 3 彼は、ペテロとヨハネが宮に入ろうとするのを見て、施しを求めた。
- 4 ペテロは、ヨハネとともにその人を見つめて、「私たちを見なさい」と言った。
- 5 彼は何かもらえると期待して、二人に目を注いだ。
- 6 すると、ペテロは言った。「金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」
- 7 そして彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、
- 8 躍り上がって立ち、歩き出した。そして、歩いたり飛び跳ねたりしながら、神を賛美しつつ二人と一緒に宮に入って行った。

《本日のメッセージ》

1、「金銀は私にはない」と言ったペテロとヨハネ

6 節

a、「金銀」とは、お金のことでなく人間的能力や権力、地位や名誉、人の栄光なども含みます。

①ペテロとヨハネが宮に入る時に、施しを求める生まれつき足の不自由な男性がいました。

その男にペテロは、はっきりと「金銀は私にはない」と答えました。

②「金銀」とは、お金だけでなく『能力や権力、地位や名誉、この世の栄光』なども含みます。

b、「良い知らせを伝える人たち」は、ペテロのように「金銀は私には無い」と宣言しましょう。

①神は「わたしの力は弱さのうちに完全に現れるから」(Ⅱコリント 12:9)と言われます。

②使徒パウロは「私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。・・私が弱いときにこそ、私は強いからです。」(9～10) とも言いました。

☆主は、弱いギデオンを「力ある勇士よ。」と呼んでくださいました。(士師記 6:12)

2、「イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」

と宣言したペテロとヨハネ

6 節

a、ペテロとヨハネも弱い者でしたが、イエス様によって赦され・強くされ・立ち上がりました。

①ペテロは、イエス様を3度も「知らない」と言い(マルコ 14:66～72)

ヨハネは、イエス様から「雷の子」と呼ばれる(マルコ 3:17)短気な人でした。

②彼らは、イエス・キリストの名によって赦され・回復し・強くされました。

b、あなたがどんなに弱くても「イエス・キリストの名によって立ち上がり歩くこと」ができます。

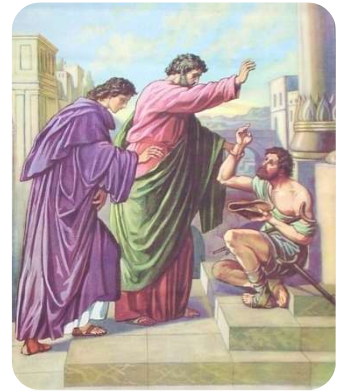
①もしあなたが、弱さの中に打ちひしがれているなら感謝しましょう。

神様の力が、その時現わされるからです。(Ⅱコリント 12:9 参照)

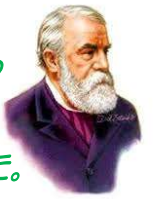
②イエスの名によって、立ち上がりましょう。

③イエスの名によって『弱い者が強くされ、

その人が神の栄光を現すことができる』のです。



1人の靴屋がアメリカのボストンの公園のベンチに座って「世界はやがて神に100%献身した人を用いて神がどのようなことをなさるのかを、見ようとしている」と言ったクリスチャンの言葉を思いめぐらしていた。そしてほとんど教育を受けていなかったこの靴屋は、立ち上がって言った。「神の恵みによって、私がその人になろう」と。この靴屋こそ、最大の福音宣教者となったD.L.ムーディーだった。後にムーディー聖書学院が設立され、彼が最初の学院長となった。



c、あなたが「イエスキリストの名によって立ち上がりなさい」という良い知らせを伝えるのです。

①宣教とは、神の子・救い主であるイエス・キリストの名を宣言することです。

②だれでも、聖霊のお働きの中でイエスの名を信じる時、その人は『立ち上がる』のです。

「このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおり完全なからだにしたのです。」使徒 3:16

「皆さんも、またイスラエルのすべての民も、知っていただきたい。この人が治ってあなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの名によることです。」使徒 4:10

3、ペテロとヨハネが、良い知らせを伝える美しい足をもつ福音宣教者となった理由。

a、彼らは、イエスと共にいたからです。

「彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であるのを知って驚いた。また、二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。」 4:13

①彼らは、特別な学びも能力もない「無学な普通の人」でした。

②しかし、彼らは主の弟子としてイエスと共にいました。よみがえったイエスと共にいました。

③イエス様は「・・見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

と彼らに約束されていたからです。

マタイ 28:20

b、彼らは、いつも祈っていたのです。

1 節

①この素晴らしい出来事は、午後3時の祈りの時間に起こりました。

☆当時のユダヤ人は、一日三回午前9時・12時・午後3時に祈る習慣がありました。

②祈るところに、神の驚くべき救い・いやし・奇跡の御業はなされます。

③ペテロとヨハネのように、祈りを習慣的・日常的にする人となりましょう。

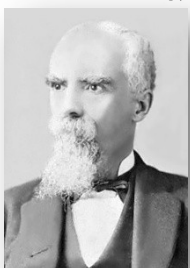
「絶えず祈りなさい。」

I テサロニケ 5:17

☆主の栄光を輝かす奉仕のため、最も大切なことは「絶えず祈る」ことです。

「大事なことは3つ。……祈り、祈り、祈り、です。」 ビリー・グラハム牧師

【米 1918-2018 20世紀最大の伝道者と言われる。185 カ国以上の国と地域を訪れ、その生涯で数億人もの人々にイエス・キリストの福音を伝えた。】



「この世の中で主のために一番多くのことをした人は、朝早く膝をついた人である。

弱い聖徒たちでさえも、御前にひざまずくときには、サタンがおそれおののく。

私たちが祈ることをやめるのは、霊的に生きることをやめるのと同じである。」

E.M.バウンズ著「祈りの勇者」より E.M.バウンズ牧師 【米1835～1913】